

## ATTENTION

### 世界最高の投資家バフェットが90歳に、初の日本株買いも



2019年株主総会 傘下デイトリー・クイーンのカンディをかじる



2018年株主総会 笑顔振りまくバフェット(筆者撮影)

世界有数の富豪で、パークシャー・ハサウェイを率いるウォーレン・バフェットが8月30日90歳を迎えました。現在もバリバリの現役です。65年続けている今の仕事が好きで好きでたまらないとのこと。「タップ・ダンシング・ツウ・ワーク」-毎日ぴょんぴょんスキップしながら会社に行っている気分だそうです。90歳になっても勉強を怠らず、毎日、5、6時間は読書をしているといいます。やはり自分が好きなことをやっているから、ここまで元気で頭脳明晰でいられるのでしょうか。また余計な摩擦やめ事を起こさず、ストレスなく過ごしているから、これといった病気にもならないで、すがすがしい気分であるということも重要です。この状態が長年続き、投資でも素晴らしい成果となって現れる。我々も、どう生きていくかという面で、バフェットから学ぶことは大変多いです。バフェットの誕生日(米国時間)に、日本の5大商社の株式をそれぞれ5%超買い付けたというビッグニュースが飛び込みました。初の日本株買いです。日本の株式市場にとって、これは大変喜ぶべき出来事です。このように多大の影響を持つバフェット。あらためてその存在の大きさを感じます。

## OPINION

### 経産省は国民を道連れにするな

日本の商品先物市場はあまりにも貧弱です。2019年の商品先物の取引高は、約1900万枚で、05年比で8割減少。この間、世界の売買高は7.6億枚から72億枚に10倍弱まで増えています。単純計算で日本と世界では47倍もの開きが出たこととなります。日本取引所グループ(JPX)との統合に向けた2019年3月期最後の東京商品取引所の決算は4年連続の赤字、しかもダメ押しの最大の赤字幅になりました。東京商品取引所は金など貴金属や農産品、ゴムの市場を大阪証券取引所に移し、原油などエネルギー部門だけをJPXの子会社になった「東京商品取引所」に残しました。この原油などエネルギー部門の所管は経済産業省。最後の最後まで、自分たちの権益を守るため、縄張りを死守しようとしたものです。株価指数先物と大阪証券取引所に移管した金先物と株価指数先物は同じ口座で取引できるようになり、証券会社も参入に意欲を示していますが、原油などエネルギー関連は東京商品取引所に残り、同じ口座で取引できません。経産省出身の東京商品取引所の社長は、原油や電力に特化した「総合エネルギー市場を目指す」と、これまで同様ぶち上げていますが、過去の実績を見れば、その帰趨は明らかです。東証が大阪取引所と経営統合し、JPXが2013年に発足してから、デリバティブを強化したことで、今では純利益は4倍、時価総額は2倍の1兆円超になりました。大阪証券取引所に移した金や天然ゴムなどの先物取引は、口座・証拠金の共通化など利便性が向上し、個人投資家が目に見えて増えているということです。経済産業省は縄張りを守るため、奈落の底まで国民を道連れにしないで、いい加減に白旗を揚げるべきです。

## MARKET

|      | (8月末)       | (7月末比)               |
|------|-------------|----------------------|
| 日経平均 | 23,139.76円  | +1,429.76円 (+6.59%)  |
| NYダウ | 28,430.05ドル | +2,001.73ドル (+7.57%) |
| 米ドル  | 105.95円     | +0.00円 (+0.00%)      |

## 今月の言葉

我々の信念の実行に当っては剣士ではなく、力士のごとくあるべし。なぜならば前者は、その持ちうる剣を落とせば殺されてしまう。ところが後者にはいつでも自分の手があった、これを握り締めさえすればよいのだ。

-マルクス・アウレリウス『自省録』

## いまコントロールできるもの：自分自身

コロナウィルス感染収束が見えない中、ストレスが溜まり、抑うつ気分になったり、イライラが高じたりするような状況があります。こういう時は気持ちの持ち方が大事です。心理学の研究を交えた参考になる米国ウォール・ストリート・ジャーナル紙のレポートを紹介しましょう。

## コントロールできることに集中する

まずコロナがいつ収束するか、感染してしまうかなど、コントロールできないことを書き、一方で時間やお金をどう使うか、健康管理や予防策をどう実行するかなど、自分がコントロールできることを書き出す。そしてコントロールできないことは捨てて、できることに集中する。

## 自分をコントロールする

いまのような時期には、ゴール達成意識、気持ちの持ち方、行動を管理する能力が肝心だ。しかし、我々は自己コントロールが往々にして効かない。安易な方向に行ってしまうがちで、長い目でよい結果になることを遠ざける。

自己コントロールを心がけると、心身の健康、学業や事業の成功、対人関係に多くの恩恵がある。そしてだれでも自己コントロール能力は伸ばせる。いわば日々の心がけ次第なのだ。この能力を伸ばす2つの方法を紹介している。

一つは、良い習慣を持つこと。たとえば仕事をするときにはスマホを切る。近所に出かける用事があるときは歩くようにする。いつも同じ時間に就寝するなど。2番目は、自分の思考法を組み直すことだ。足元を見るより、広い視点を持つように心がける。これをできるようにするテクニックを紹介している。

## 自分に距離を置く

子供を怒鳴りたい、ケーキを食べたいという自分に、心理的に距離を置く言葉を使う。自分に、第三者の立場から語り掛けるというやり方だ。「エリザベス(自分)は、締め切りが気が気でないが、放り出すことはない。」こうすることで、不安は少なくなり、よい仕事ができるようになるという。

## もう一人の有能な自分を作る

決心を強固なものにするため、自分をもっと有能な人間だと想像してみる。難しい交渉をするときは、自分が、第一級の人質交渉人だと描いてみる。スポーツで強くなりたかったら、自分がオリンピック選手だと想像してみる。あるいは、同じ状況で自分が尊敬する人はどうするかを自分に問いかけてみればいい。

## 過去を振り返る

過去に決意を固めたときを振り返る。あるいは歴史上、人々が乗り越えてきた困難を思い起こす。こうすることにより、1週間先か、1年先か、事態がよくなる将来のある時点を展望することができる。

## 将来の自分を想像する

将来のゴールに現在の行動を結びつけるため、なりたい自分を映像化する。そして先に立ち足る障害を特定して、乗り越えるように心がける。そうすることで、現在の困難は人生の中では一時的なものだとわかるようになる。

ここに取り上げたものは、すべて米国などの大学や研究所の最新の研究によるものです。少し試みてみると、不思議とすとんと落ちるものがあります。

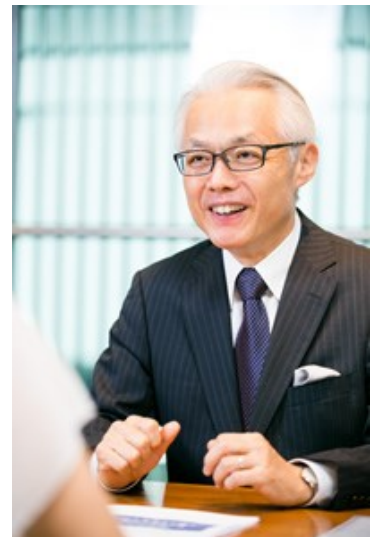
## まかせて安心、資産運用のホームドクター

- 大切なお金を間違いない方法で運用しているのか、心配になることはありませんか。
- 退職後のセカンドライフを、お金の心配なく、ゆとりを持ってお過ごしですか。
- 仕事が忙しくて、なかなか運用まで手が回らないということはありませんか。
- 銀行や証券会社が勧めるままに、株や投資信託を購入していませんか。

金融商品の中身や手数料がどうなっているか、きちんと把握していますか。

びとうファイナンシャルサービスは、金融機関から完全独立のFP・資産運用アドバイザーです。その強みを生かし、お客様に、客観的で、公正・中立なアドバイスを提供しています。手数料が高く売りやすい商品をお客様に売っていただくのではなく、お客様にもっとも適した金融商品をお客様にベストのアドバイスを提供しています。

びとうファイナンシャルサービスは、お客様の目標や夢の実現のため、40年を超える長い経験と深い専門知識、高い倫理観をもとに、お客様の利益のみに目を向けたサービスを提供しています。たとえるなら、多くのお客様の人生という航海で、無事に目的地に到着する大型客船であり、いつもお客様の資産運用という面で健康管理をするホームドクターです。



びとうファイナンシャルサービス  
代表 尾藤 峰男

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/mailmagazine/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス  
代表取締役 尾藤峰男

電話：03-6721-8386

携帯：070-5567-3311

電子メール：info@bfsc.jp